

# 港 防災だより

No.10

2012年（平成24年）9月1日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 奥村吉孝

## 「港 防災だより」について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。

（例.埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率 39.4%）  
これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

## ■自主防 地区／地区関連企業連絡会議報告

平成24年5月11日（金）13時30分より、なやプラザにおいて全52名が参加し（地区自治会関係11名・地区関連企業等各種団体関係者26名・行政関係者15名）開催されました。この会議は、地区／地区関連企業の連携を維持向上させるため、毎年開催されているものです。

本年度の事業計画には、従来からの継続事業に加え、津波への備えとしての訓練（備えをつくる）の実施が織り込まれました。今後、地区／地区関連企業の連携のもと、地域防災力の更なる向上を目指すこととなります。

なお、連絡会議の後、（この連絡会議では）初めての防災講演が実施されました。講演は、三重大学 川口准教授による「この地域における巨大災害のリスクと対策」（東日本大震災など過去の災害に学ぶ）で、講演後の活発な質疑もあり、大変有意義なものでした。

## ■自主防連絡協議会総会

6月3日（日）午前9時30分より、本町プラザにおいて、中山中消防署長・坂口危機管理室長・矢野中部市民センター館長をお招きし、企業・住民の出席のもと開催されました。地域防災への関心も高まり、過去最高の207名の参加があり、当協議会の使命の重さを改めて感じました。

総会は、港第2市民防災隊加藤隊長の司会で進められ、糸内防災リーダーから前年度活動報告、本年度事業計画の説明があり承認されました。

その後 三重大学川口 淳准教授による『巨大地震・大津波にそなえる』～過去の災害に学ぶ～、について有意義な講演がありました。

当地区においても東海・東南海・南海地震の発生が危惧されており、一層地域の絆を強めると共に、地域防災力の向上・津波対策を推進していかなくてはならないと感じました。



奥村会長のあいさつ



糸内防災リーダーの事業説明



三重大川口 淳教授のご講演

## ■四日市市地区防災組織連絡協議会発足

四日市市内には、現在29の地区防災組織がありますが、この度、このネットワークが構築されました。地区防災組織間の連携を密にすると共に、自助・共助の防災意識の普及高揚、地区防災組織による自主的な防災活動の活性化など、全体としてレベルアップを図ることを目的にこの協議会は設立されました。5月23日に設立総会が開催され、今後各種の活動が行われます。

なお、この協議会の初代会長には港地区自主防災組織連絡協議会の奥村会長が選任されました。



## ■第49回四日市市消防団消防操法競技大会

日時 平成24年7月15日(日) 8:30~12:00

場所 中央緑地芝生広場

四日市市消防団25分団が参加して、火消し魂が激突！  
海上分団も暑いなか健闘されました。

地域住民の安全・安心を支えるため、全団員一丸となり頑張りました。御疲れさまでした。

同時開催 消防団フェスタ

- ・ ミニはしご登りコーナー
- ・ 放水体験コーナー
- ・ 応急手当コーナー
- ・ はしご車試乗など

## ■港地区総合防災訓練

平成23年度の訓練は、防災隊活動と避難所運営とを同時に行いましたが、本年度よりこの2つを合体させ、基地・防災隊・班の連絡をより密接に取る方法を模索したいと考えています。

そのため、事前に基地／防災隊／各班との間で『図上検討会』を行い、充分理解が深まったところで総合防災訓練にて総括する予定です。

ご指導いただいている三重大学には、主として図上検討会を担当していただき総合訓練は港地区自主防災組織連絡協議会で運用する様に計画しています。

皆様のご協力・ご参加をお願い致します。

**港地区総合防災訓練**

**9月30日(日) 9時開始**

# トピックス

3月

## パイプライン管理状況報告会

地区内に導管を敷設している企業5社から3回に分け、この1年間の導管の点検結果等につき定期報告を受けました。この報告会は毎年開催されております。



5/27  
(日)

## 浜町一区津波避難訓練実施

今回は、浜町1区～中部中学校までの2Kmを集団避難する訓練が実施され、17世帯・25名が参加しました。

(乳母車、リヤカーも使用)

参加者の多くは、ヘルメットを被り、避難袋を背負うなど、いざという時への備えを確認しました。

浜町一区では、町単独で年に1度、普通救命講習又は防消火訓練を実施して来ましたが、本年はこれらに代え津波避難訓練を実施したものです。



6/1  
(金)

## コスモ石油(株) 定期整備説明会開催

9/14～12/5の間、定期整備が実施されること、機器・装置の洗浄、点検、補修、触媒交換を主体とした製油所全停電を含む大規模な定期整備であること、の説明がありました。

港地区よりは、安全安定操業、無災害・無公害の基盤となる抜きの無い定期整備を要望しました。

**6月17日（日） 9:00~11:00**  
**港第一市民防災隊訓練**

納屋公園に於いて、コスモ石油様ご協力のもと、港第一市民防災隊員17名が、中消防署員4名様のご指導を受け、毎月点検を実施している消防ポンプの取り扱い、及び放水等の基本操作の訓練を行いました。



**みんな真剣！！**

**放水！！**



**4月15日（日）8:30～**  
**港第二市民防災隊「総会&消防訓練」**  
**場所:三つ葉公園**



本年度も三つ葉公園ポンプ小屋前にて  
「平成24年度 港第二市民防災隊 総会」を開催しました。

- 1) 「奥村 港地区連合会長」と「堤 尾上町自治会長」、「寺井西末広町自治会長」がお見えになり、活動内容を視て頂きました。
- 2) 新規隊員（南納屋町）一名が入隊しました。今後の活躍に期待しています！！

**防災意識と結束力を高め、【自分達の町は自分達で守る】ことを再認識しよう！**



- ① 「奥村会長」あいさつ
- ② 新入隊員紹介
- ③ 総会資料による報告
- ④ 講習及び訓練
- ⑤ 長距離伝達放水訓練
- ⑥ 可搬式ポンプ点検・整備・清掃・取扱い講習
- ⑦ 「防災コンテナ」内部の備品点検



## 三重県立総合医療センター設立記念講演会

三重県立総合医療センター（日永）は、この4月1日より地方独立行政法人として新たに出発しました。

これを記念して、講演会とパネルディスカッション“災害時において総合医療センターに期待するもの”が開催されました。

パネルディスカッションには、奥村会長がパネリストの一人として参加、自主防災組織からの期待等を主張しました。



### 港 地 区 四 日 市 防 災 大 学 卒 業 生

☆港地区における防災リーダーの方々☆

H17年度（1期）	講 師	桑内 利雄
H17年度（1期生）	川崎 光俊	
H18年度（2期生）	加藤 亘	堤 明
H19年度（3期生）	奥村 吉孝	清原 茂 山川 敏男
	中村 幸	久志本 忠司
H20年度（4期生）	松田 裕文	
H23年度（7期生）	坂井 邦夫	家城 宏光

防災・減災活動を担う人材育成の講座として次のものがありますので、是非受講して下さい。

- ・ 四日市市防災大学
- ・ 四日市市減災コーディネーター
- ・ みえ防災コーディネーター育成講座
- ・ 三重さきもり塾

3月

♡四日市電機株式会社様よりご寄付をいただきました♡

蔵町の四日市電機株式会社より、社員の皆様がテーマ別に取り組まれた環境保全活動のうち、1つのテーマの年間成果金 64,000円のご寄付をいただきました。

緊急対応として活用させていただきます。

4月

### 新会員紹介

4月1日より、千歳町の日本カニゼン株式会社が本協議会に入会しました。よろしくお願ひします。

#### 《防災委員》

荒川 博	家城宏光	池田輝雄	奥村吉孝	加藤 亘
川崎光俊	桑内利雄	小崎重夫	鈴木完一	瀬川 宏
辻本晃成	堤 明	堤 利臣	堤 義隆	寺井 勝
中島守夫	長谷川 雄俊	波多野 通	樋口俊夫	藤村昇平
水谷敏郎	宮崎裕之	山内達生	山口 輝	山田鑛明
山田正幸				(敬称略・五十音順)

#### 《協力企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)	第一工業製薬(株)
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)
東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)
日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)
日本トランスシティ(株)	(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)
三菱化学(株)	四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局
			(五十音順)